

大学の授業を地域に公開します

公開授業 「女性学」

講師 山口県立大学 国際文化学部 教授 三宅義子

女性学は新しい研究分野で、とりわけ、ジェンダー概念――生物学的性差と区別される社会的、文化的に構築された性差――の創造は画期的と言えます。これによって、それまで自然の領域、私的領域とみなされてきた家族や女性の問題が社会科学の分析対象になり、社会と歴史の全体的把握を可能にしているからです。授業では、女性をめぐる問題について欧米諸国との比較の観点を導入しながら、その歴史と現在を見てゆき、今後の課題を考えます。



◎日 時 平成21年10月6日(火)～平成22年2月2日(火) 8:40～10:10

◎場 所 山口県立大学4号館 D15教室 (裏面地図参照)

◎受講料 1回500円、10回以上5,000円

プログラム

回	月日	授業項目	内容
1	10月6日 (火)	女性学とは	女性学の起源は1970年代初頭を頂点とする世界的な女性解放運動の台頭に求められる。この30年間の女性学の歴史を日本社会の女性の地位との関連で見ていく。
2	10月13日 (火)	女性学の射程	女性学の最大の貢献は、ジェンダー概念の創造である。この概念の定義とこれを使うことで開拓された問題領域を提示し、ジェンダー視点導入の有効性を実証する。
3	10月20日 (火)	女性学のめざすもの	階級、人種、エスニシティと並んでジェンダー概念を導入することで問題の核心に迫り得た例を現在と過去の社会問題をとりあげながら詳述する。
4	10月27日 (火)	女性労働の現在(1)	日本の女性の「労働権」は未だ確立していない。このことを中高年女性のパートタイム就労に内在する問題に焦点を合わせて見ていく。
5	11月10日 (火)	女性労働の現在(2)	VTR「彼女が会社を辞めた理由を知っていますか」を見ながら、雇用機会均等法の成立との関連で大手企業における、この10年間の大卒女性社員の問題を考察。
6	11月17日 (火)	女性労働の歴史(1)	人口に膾炙した「女工哀史」とは、日本資本主義発展の基礎を築くために女性労働者が犠牲に供された物語である。「女工哀史」をキーワードにして歴史を読み解く。

(裏面に続く)

7	11月24日 (火)	女性労働の歴史(2)	女工哀史型労働と現代のパートタイム労働者には女性労働者＝周辺労働力とみる企業の一貫した姿勢が現れている。このような視点から平等化の課題を考える。
8	12月1日 (火)	主婦とはなにか	女＝主婦という性別分業思想はいつ生まれたのか？ 女性が主婦役割をこなすことはどのような社会的機能をもっているのか？ この問いを中心に講義を展開。
9	12月8日 (火)	主婦の誕生と歴史	フリーダンの『女性の神秘』に描かれた1950年代アメリカの郊外主婦の閉塞状況とそこからの脱却が提起する問題を軸にして日本の主婦の歴史を検討。
10	12月15日 (火)	母役割について	戦前日本の女性の理想像として構築された「良妻賢母」規範の現代版は今なお女性の生き方を縛っている。母役割、母性イデオロギーなどを検討する。
11	12月22日 (火)	フェミニズムとは何か	VTR「ルッキング・フォー・フミコ」(日本のウーマン・リブ運動に関わった女性たちのインタビューを基にした映画)を見ながら、フェミニズムの意味を考える。
12	平成22年 1月12日 (火)	フェミニズムの歴史	「青鞥運動」「母性保護論争」「婦人参政権運動」「廃娼運動」など日本の女性運動の歴史を欧米との比較で見えていく。
13	1月19日 (火)	性と生殖をめぐる(1)	リプロダクティブ・フリーダム(性と生殖をめぐる自由)の獲得は、女性の人権確立の程度を計る一つの指標である。現代日本の女性の地位をこの点から問い直す。
14	1月26日 (火)	性と生殖をめぐる(2)	日本と欧米のバースコントロール(産児調節、避妊)運動の歴史を比較検討するなかで、リプロダクティブ・フリーダム実現のための課題を探る。
15	2月2日 (火)	女性学の可能性一まとめ	授業を通してジェンダー視点導入によって見えてきた社会と歴史の新たな側面を確認する。それは同時に次ぎの問題発掘への刺激になるだろう。

●**受講方法** 部分受講も可能です。なお、全講座の受講者には、山口県立大学公開授業受講修了証を授与します。

●**申し込み**

1) 申込先 〒753-8502 山口市桜島3丁目2-1
山口県立大学附属地域共生センター生涯学習部門
TEL/FAX 083-928-3495

2) 方法 上記申し込み先まで、氏名・住所・郵便番号・電話番号をお知らせください。(はがき、電話、FAXでも可)

3) 締切 **9月29日(火)**

4) 受講通知 講座開始前頃各自へお知らせします。

♪♪この講座に関するお問い合わせは

山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門
TEL/ FAX 083-928-3495

